

令和5年度

小平市立小平第五小学校卒業式 校長式辞

皆さんの晴れの門出を祝うかのように、正に今日、桜の蕾がほころび始めました。

卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。

そして、保護者の皆様、本日はお子様の晴れのご卒業、誠におめでとうございます。心をこめて育てたお子さまの眩しい姿に、お喜びもひとしおのことと存じます。心からお祝いを申し上げます。

また、本日は、小平市教育委員会教育部長 白倉克彦（しらくら かつひこ）様をはじめ、ご来賓の皆様には、ご多用のところ本校卒業式へのご列席を賜り、心から御礼申し上げます。

以前もお話ししましたが、皆さんが1年生として入学してきたとき、当時副校長だった私は、入学式で司会をさせていただきました。以来6年間、ずっと皆さんの成

長を見守り続けてきました。

その中でも、この最高学年での1年間の皆さんの成長、活躍は目を見張るばかりでした。

移動教室での明るく爽やかな挨拶、礼儀正しい振る舞いが、ホテルの皆さんからは大評判でした。個人的には、ナイトハイクが特に印象に残っているわけですが、2日目の昼食の弁当で出たプラスチックごみを種類別に集めたときは、その意識の高さと行動力には驚きました。「分けて集めよう！」と行動を始めた一人から次々に思いが広がって、あっという間に何袋にもなろうかというゴミがたった2袋ですんでしまいました。

運動会も凄かったです。気迫漲る組体操、赤白を超えて学校を一つにまとめ上げた応援団、率先して役割に取り組んだ係活動、全校そろっての久々の運動会を大成功に導きました。

そして、圧巻は音楽会でした。心を込めて歌った「心に咲く花」は、歌詞一言一言が、しっかり伝わり、聴く人の心に沁みわたりました。「リトルマーメイドメドレー」は、特に「パート・オブ・ユア・ワールド」と「アンダ

一・ザ・シー」がひとつに絡むクライマックスの表現と盛り上がりの見事さに心が震えました。一人一人の頑張りぬく力、力を合わせる心に、こんなにも成長したのかと、心から感動しました。

皆さんは、環境問題や人としての豊かな生き方を考えるSDGsの学習にも意欲的に挑戦しました。4年生の時に参加した「世界同時授業」に、6年生でも再び取り組みました。ユニクロの服の力プロジェクトをすすめ、能登半島地震の災害救援募金に取り組んだグループもありました。

皆さんも肌で感じていると思いますが、今、地球は大変な状態になろうとしています。極地研の方々が見せてくれた極地方の写真は、もはや雪と氷の世界ではありませんでしたね。北極圏のグリーンランドでは、夏は花畑が広がり、巨大屋外プールを楽しむまでに暖かくなっているのです。世界で頻発する干ばつ、森林火災、巨大台風や集中豪雨は、これまでの記録を塗り替え続けています。それなのに、人類の未来を脅かす気候危機に立ち向かうどころか、世界中のいたるところで悲しい

争いが絶えません。

この気候危機は、食料システムの崩壊と、いまだかつてない難民と紛争を生み出すでしょう。その危機は、一過性のものでなく永続性をもって私たちの未来を脅かし続けるかもしれません。私は、近い将来、世界中で凄惨な椅子取りゲームが始まってしまうことを心配します。少ない椅子を多くの人が奪い合う、そんな未来を見たくありません。

しかし、今だって、「負け組」「勝ち組」と人生を色分けして、できるだけ「勝ち組」にいたい、そのために頑張って勉強しよう、体を鍛えよう、いい学校に行って、安定したところに仕事に就いてと、椅子取りゲームの発想で頑張っている人は少なくない気がします。しかし、少ない椅子から自分だけはこぼれ落ちたくない、そのために頑張るという発想自体が、この椅子取りゲームをより強固にし、より熾烈なものにしていると思います。

3つしかない椅子に10人がいるとき、何とか3人の1人になって生き残ろうとする発想でなく、どうした

ら3つの椅子を10人で分け合えるか、知恵と優しさ
と行動力で危機を乗り越える発想が求められていると
思います。弱肉強食では、3つの椅子はやがて2つにな
り、1つになり、その1つさえも時間の問題となるで
しょう。そうではなく、3つの椅子をみんなで守りなが
ら、4つめ、5つめの椅子を創り上げ、より持続可能な
未来を開いていく、そうした発想と価値観の転換が求
められていると思います。「椅子取りゲームはごめんだ」
と叫ぶことは簡単です。しかし、その巨大なエゴの流れ
を押しとどめ、人々を結び、協力と平和に導くためには、
強い意志の力と知恵と表現力が必要です。

皆さんがこの1年間、テーマとして掲げた

「踏み出そう！ Y e s - A n d」

どんなことも「Y e s」と前向きに受け入れ、「A n d」
とよりよいものに高め磨いていく、みんなで創ってい
く発想こそ、未来への勝利の方程式です。

全ては自分の「心」からスタートします。自分だけでは
ない、皆のため、世界のため、平和のためにと、皆さん
には、ぜひ、今まで以上にさらに厳しい学びを自らに課

して、力強く未来を切り開く一人一人になっていただきたいと思います。

小平第五小学校は、そうした皆さんのふるさととして恥じない学校として進み続けたいと思います。

これまでの皆さんの笑顔と頑張りと優しさに、心からの「ありがとう」をおくります。

皆さんが、皆さん自身の手で、大いなる希望の未来を切り開いていくことを念願し、私も皆さんと共に進み続けることを約束し、お祝いの言葉といたします。

令和6年3月25日

小平市立小平第五小学校長 松本 雅史